

明治貴族の夢の結晶 「洋風別邸」

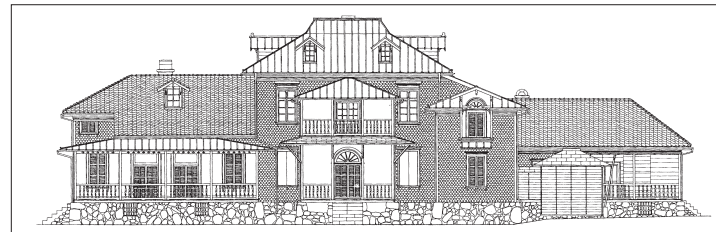
那須野が原には、近代建築の粋を集めた洋風別邸が点在しています。西洋をめざす華族たちが自らの農場内に築いた「夢の跡」です。



旧青木家那須別邸 Viscount Aoki's Country Villa in Nasu

美しいドイツ風建築

青木周蔵（子爵）が、1888年（明治21年）、青木農場内に建てた洋風別邸です。ドイツ公使を長くつとめ、ドイツ貴族の令嬢エリザベートと結婚した周蔵は、“ドイツ通”で知られた人物。建物の設計は、ベルリン工科大学で建築学を学んだ松ヶ崎萬長で、中央棟3階の屋根裏部屋の木組みをはじめ、ドイツ式の建築工法が用いられています。



▲移築前の青木家別邸立面図。



▲2階書室。洒落た雰囲気。

大山別邸 Duke Ogama's Villa

重厚な赤レンガ造り

大山巖（公爵・元帥）が大山農場内に建てた、「日本館」とよばれる和風別邸と洋館をあわせもつ別邸です。当初は和風別邸だけでしたが、1905年（明治38年）ごろ、農場内で製造された赤レンガを使い、重厚なつくりの洋館が増築されました。南側正面に切妻屋根の玄関を張り出し、レンガ造りのアーチをほどこした外観が印象的です。



▲現在、栃木県立那須拓陽高等学校の農場に大山別邸がある。洋風別邸と日本館は、わたり廊下でつながっている。玄関ライトの星形レリーフは、陸軍の星をかたどったもの。

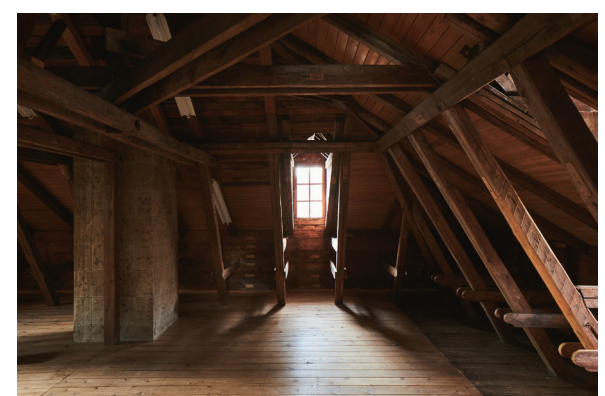
山縣有朋記念館 General Yamagata Memorial Museum

建物にY・Aのデザイン

山縣有朋（公爵・内閣総理大臣）が晩年を過ごした、小田原の別邸「古稀庵」にあった洋館のひとつ。有朋没後の1923年（大正12年）に起きた関東大震災により崩壊しましたが、翌年、有朋ゆかりの山縣農場内（現在地）に移築・再建されました。サンルームの外壁やドアなどにほどこされたY・A（山縣有朋の頭文字）のデザインが目を引きまます。



▲紺色のすっきりとした洋館。庭には狛犬が1つ置かれているが、狛犬はふつう2つで1対。対となるもう1つは、皇居内にあるとも伝えられる。



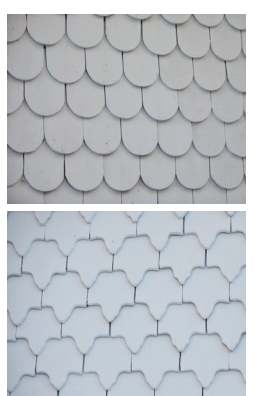
▲ドイツ式建築構造の屋根裏部屋。



▲実際に使われていたといわれている馬車。



▲玄関。つくられた当初のものが今も使われている。



▲外壁をおおうスレート。2種類の形がある。